

平成 30 年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時 平成 30 年 10 月 29 日（月） 午後 6 時 30 分～8 時 40 分

場所 布部会館

参加者数 23 人

市側出席者

市長	北 猛俊
副市長	石井 隆
教育長	近内 栄一
総務部長	稲葉 武則
市民生活部長	山下 俊明
保健福祉部長	若杉 勝博
経済部長	後藤 正紀
建設水道部長	吉田 育夫
教育部長	亀淵 雅彦
ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
企画振興課長	西野 成紀

【市長 開会のあいさつ】

もう少しで11月ということで1年が過ぎようとしています。今年一年を振り返りますと、天候不順のなかで、農業も大変な一年だったと思います。その農業の収穫を終えて、来年の準備をされてお疲れのなか、また、足元の悪いなか、布部会館での地域懇談会にお集まりをいただきお礼を申し上げます。本日は、布部、五区、扇山のみなさんにお集まりをいただいています。扇山小学校では、120周年の式典が行われたところですが、この120年間、地域のなかで努力をされた方、それを守ろう、育てようとする方々がいるなかでの120年です。この地域懇談会が、そうした地域づくりにつながることを期待しています。

本日の地域懇談会は、富良野市が当面解決をしなければならない課題として、JRの問題、新庁舎建設の問題について、今までの経過と市の考え方について説明をさせていただき、みなさんからご意見をいただきたいと思います。また、それぞれの地域で抱えている課題についても聞かせていただきたいと思います。

短い時間ではありますが、有意義に過ごさせていただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 鉄路のあり方

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○JR北海道の根室線（富良野—新得間）の営業損失が約8億円、富良野線（富良野—旭川間）の営業損失が約10億円であるが、今はディーゼルカーで狩勝峠を通るルートの方が燃費も掛かると思うが、どうしてこんな数字になるのか。</p> <p>○鉄路は上下分離方式でやった方がよい。</p>	<p>○各線区によって費用が違います。根室線（富良野—新得間）は便数が少なく、10便程しか走っていません。費用には、輸送にかかる費用、車両の修繕維持にかかる費用、鉄路の維持修繕にかかる費用などがあり、根室線（富良野—新得間）は、輸送にかかる費用が少ないと考えられます。維持管理にかかる費用は、各線区とも約5億円と言われています。輸送にかかる費用の減が、営業損失の数字にも表れていると思われる。</p>

2. 新庁舎建設について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○庁舎の建て替えはした方が良いが、この話は最近出てきたように感じる。平成32年までに決めるとなると切羽詰まっている。金額を考えるともう少し時間を掛けて議論をした方が良くと思う。人口2万人で考えると1人当た</p>	

<p>り約 30 万円の負担、家族 4 人で考えると 1 世帯 100 万円以上の負担を強いてまでつくる新庁舎の利便性って何かとを感じる。そもそも必要なのかを考えてほしい。</p> <p>○これから 30 年、40 年使うにあたって、今の場所で絶対に安全だという確証みたいなものはあるのか。</p> <p>○58 億円の経費をかけて建てるべきものか。検討委員会で議論することになっているが、中身がわからないと判断もできない。市の財政の将来的な見通しもないと検討することもできない。概略や予算などの情報を市民に広報などで周知・公表していくべきではないか。</p> <p>○富良野市の人口推移、税を納められる人は何人いるのか、労働力人口はどれくらいいるのかなどがわからないと維持していくことはできない。そうした状況を市は何年先まで把握しているのか。それがないと市民も検討できないのではないか。</p> <p>○庁舎の建て替えは、いずれ必要である。将来の市民負担を考えても今やるべきである。</p> <p>○庁舎の建て替えは、お金がないのであれば、補助金でやった方がよい。庁舎も文化会館も年数が経っているので同時に進めた方がよい。</p>	<p>○色々な検討をしましたが、建設にはかなりの面積が必要であり、新たに土地を求めるより、現在地を活用し、災害に強い庁舎や建設費のもっと掛からない庁舎など、みなさんにいろんな形でお知らせし、判断をいただきたいと考えています。</p> <p>○11 月の広報で周知していく予定です。市民に知っていただくために、いろいろな手段を講じていきたいと思えます。かわら版のようなものを作成して市役所などへ掲示することも考えています。周知方法は、懇談会などで多くの方から意見をいただいていますので、検討委員会で考えていきたいと思えます。</p> <p>○人口予測は社人研で作成しているが、市では平成 62 年までには償還が終わると考えています。その時の人口は 15,000 人から 16,000 人と想定し、実質公債比率が現在の 7.6%が、平成 62 年は 11.1%になり、健全財政は維持できると判断しています。</p>
--	---

3. 防災体制について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○南扇山 2 に布礼別川があるが、今年 3 月 9 日に大雨が降り、1 件が床下浸水、近くの牛舎やハウスも被害に遭いそうになった。ここ数年、何度か避難勧告が出ている危険な川だが、今後の対策は何かあるのか。</p>	<p>○布礼別川は道河川です。河川改修については、本日、富良野沿線の首長・議長が上川総合振興局に要請活動を行っているところです。上川総合振興局の回答としては、予算の範囲内で計画的に行っていくとしています。市としては、継続的に要請を行っていきます。</p>

○9月6日に地震があったが、情報を得るためにラジオふらのを聴いたが、音楽ばかりが流れていた。的確な情報が伝わる方法を考えてほしい。

○布部会館も地域の避難所になっているが、避難所に対してどのような整備をしているのか。

○災害があったときに市役所のどの部署が対応するのか。市役所の防災体制はどうなっているのか。

○市役所にセルフローラーが入ったが、どういう経過で購入したのか。

○今回のラジオの放送については、多くの意見をいただいています。行政も改善策として、同じ情報を何度も流し市民に情報を与えるなど、ラジオふらのと調整を行っていきたいと考えています。情報の周知方法は、いろいろあるので検討していきたいと思います。

○コミュニティFMの関係は、道北の会議の中で問題点を洗い出したときに、ラジオ放送は有効であったと聞いています。ただ、富良野市の場合は、情報を流した後に、音楽が流れていました。今後、ラジオふらのと調整し、何時現在の情報という内容をエンドレスで流せないか考えています。ラジオふらのとの協定の中でも災害時に協力するとなっていますので、切れ目のない情報を流していきたいと思います。

○市内全体としては、各学校を中心に外部電源を整備中です。地域の避難所への備蓄はしていませんが、発電機や毛布などを市から運ぶことを考えています。市全体で防災の見直しをしていますので、何が必要か市民からの意見を聞きながら進めていきたいと思います。

○災害の際は、総務部が全体を仕切り、各部署ごとに役割分担が決まっています。問い合わせ窓口は、総務部となります。

○災害の際に発電機やポンプが足りていない状況でしたので購入し、整備を進めてきましたが、これらの機材を運ぶユニック車が足りないため購入しました。

4. その他

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○十勝の池田町でワインづくりを始めたが、その後、富良野市でも取り組まれた。市としても将来的に何か収益をあげる手法を考えるべきではないか。	○富良野市のワイン事業は農業振興として昭和47年にスタートしました。農家の収益を上げ、付加価値を高める取り組みをしていますが、現在は農家への支援を拡大し、ぶどうの生産をしてもらえるような状況をつくり出しているところです。

<p>○富良野市の水道は、全道的にどのくらいのランクなのか。</p> <p>○扇山小学校 120 周年を記念してグラウンドの暗渠工事をしたが、水が溜まっている。</p>	<p>○市の企業会計は、水道事業とワイン事業です。現在、ぶどうの生産者が減っている状況です。ぶどうの収量が少ないと売るものも少なくなります。好評だけど売るものが少ないという状況になります。今後数年は厳しいですが、改植などを行うなかで、安定生産につなげていきたいと考えています。</p> <p>○水道の美味しさ的なデータはありませんが、国の基準は満たしています。水質的にも恵まれていて、硬度は中硬度です。料金は北海道内で中間に位置しています。</p> <p>○状況を確認し、対応します。</p>
--	--

4. 地域課題など

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○布部にお試し暮らし住宅があったが、移住につながらないということで中止したと聞いた。地域としては、お試し暮らし住宅として使わないのであれば空き家が増えたのと同じ。前向きな利活用を考えてほしい。</p> <p>○情報通信環境として光回線が必要。農業青年が最先端のシステムを使うにはパソコンが必要で、遠ければ遠いほど、一生懸命な人ほど光回線が必要となる。</p> <p>○光回線の手続きを行ったが、NTTから行政からNGが出たと言われてキャンセルとなった。そうした場合の救済措置はあるのか。</p>	<p>○移住促進施策として、平成 21 年よりお試し暮らし住宅に取り組み、布部地区は平成 27 年から旧教員住宅を活用してきました。最近は、高齢者の利用が多く、夏季に限定していて、移住を前提としたお試し暮らしではなく、観光利用などの本来の目的にそぐわなくなってきました。ふらの市移住促進協議会による雇用での活用、未利用財産として売却など、有効な手立てがないか検討しているところです。</p> <p>○昨年、公共施設や学校に光回線の整備を行い、そのなかで布部の一部にも整備を行いました。整備された光回線付近の住宅も電柱で 3 スパン以内であれば加入することができますが、それよりも離れたエリアは加入することができない状況です。市では、加入のできる、できないの判断は行っていません。</p> <p>○今年度の光回線整備により、475 世帯が新たに加入できることになりましたが、実際には 9 月末までに加入していただいたのは 1 割程度です。NTT は 2023 年に ADSL 回線を終了するとしていますが、未整備地域の対応は示されていません。また、第 5 世代移動通信システム (5G) は、大手携帯電話 3 社から 2020 年以降サービスを開始するといわれてお</p>

- 通学路に指定されている相田木材の坂道が、マンホールが飛び出ているので危険。改善してほしい。
- 布部小中学校から国道に出るところで、冬の除雪により歩道がなくなり危険な状況になっている。
- 布部の農道で舗装になっていないところがある。舗装にならないのであれば、砂利をひくなどの対応をしてほしい。

り、通信速度や通信容量も大きく改善されると言われています。他市の状況では、ある程度の加入が見込める場合は、市町村がN T Tに要望しているという話もありますので、本市としても同じような対応が可能ではないかと考えています。

- 去年もご指摘いただいているので北海道には通報しています。再度、通報し確認したいと思います。
- ご指摘をいただきましたので、歩道がなくならないように除雪の方法を考えたいと思います。
- 地域要望として出ていますが、市全体の予算の中で計画的に行っていききたいと思います。砂利の状況については現地を確認し、対応していきます。

【市長 閉会のあいさつ】

テーマの2点につきまして、熱心に説明を聞いていただきありがとうございます。地域の要望では、震災の影響もあり、防災に関わるご質問、ご意見をいただきました。今回の地震による停電は、初めての経験でもあり、市役所内も多少混乱していたことから、みなさんの不安を解消するには至らなかったこともあります。しかし、今回の経験を積み上げて、今後に活かしていきたいと思えます。

J Rの関係では、お金はかかるけれども守ってほしい、庁舎は建替える時期にきているという意見もいただきました。検討委員会のなかで検討を進めているところですが、これをきっかけとして、どういう庁舎を市民のみなさんが求めているのか、どの場所に、どのような規模で整備をしていけばいいのかも意見をいただいて、積み上げができればと思っています。仮に、諸条件のなかで困難になったときでも、将来にその構想が生きていくこととなりますので、将来につながる議論をしていきたいと思っています。

人口問題の意見もありました。市の地方創生、総合戦略は人口減少をなんとか回避したいという計画です。この取り組みは始まったばかりで効果はまだ見えてきませんが、人口問題を解決するためには、まちに魅力をつくるということが大事であり、若い方々の活力も大事になってきます。そうした意見も、この後、聞かせていただきたいと思います。

本日の地域懇談会は閉じさせていただきますが、この後も将来に向けたご意見を行政に届けていただきたいと思います。本日は、貴重なご意見をいただき、熱心に説明を聞いていただいて、富良野市の将来につながる時間が持てたことに感謝を申し上げます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
30-39 歳	男性	布礼別川の河川の水があふれて危険、どうにかしてほしい。 光回線を整備してほしい。
40-49 歳	男性	新庁舎建設後 30 年の償還の間に、市町村合併は考えられないのか。
50-59 歳	男性	2030 年に J R の経営自立とあるが、とても可能と思えない。J R の考えがわからない。
60-69 歳	男性	資本主義の頭打ちが近づいている中、自治体が産業に対しての推進策を人口、住民性からどう対策するのか、今後の課題にしてほしい。日本の食料庫となる中心でハブ方式の備蓄等を考えてはどうか。